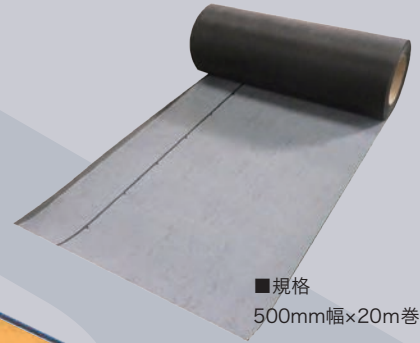


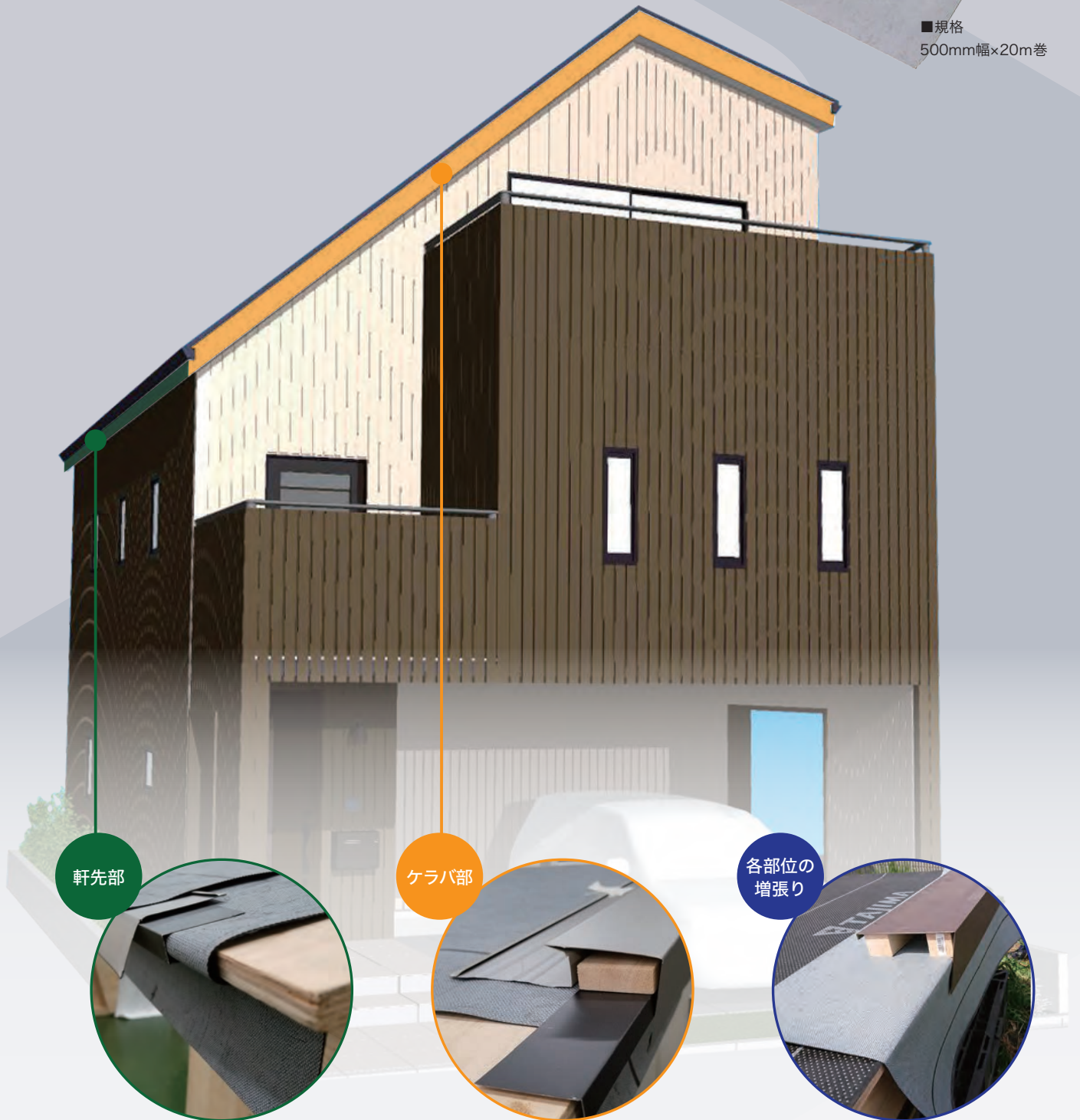
とりあいルーフィングF

高強度で軽くしなやかな素材 **Free&Flexible**

近年の戸建て住宅は、軒の出や庇のない「軒ゼロ」の屋根形状、陸屋根やパラペット付き勾配屋根、一体型バルコニーなどの採用により、外壁への雨掛かりが多くなっています。このような防水への依存度が高い密閉型の外皮構成が一般化するとともに、保険法人による漏水事故部位の報告でも「軒の出がない屋根と外壁の取り合い部」が上位にランクされるようになりました。そうした「軒ゼロ」仕様の雨仕舞強化に対応する新製品です。



■規格
500mm幅×20m巻



軒先部

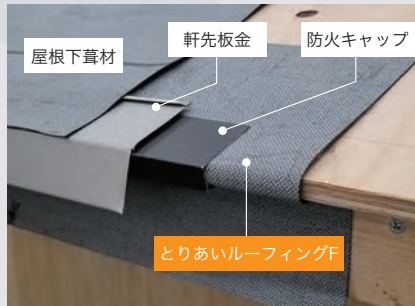
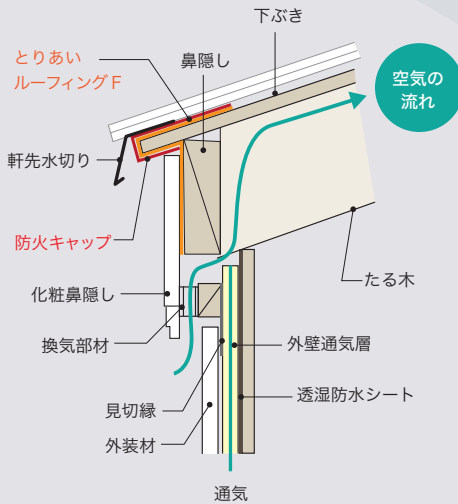
ケラバ部

各部位の
増張り

とりあいルーフィングF【施工例】

いずれの施工例も、破風などが付かない軒ゼロの場合は、外壁に張り下げた「とりあいルーフィングF」の裏に外壁防水紙を差し込むことで、防水層の連続性を確保します。

軒先部

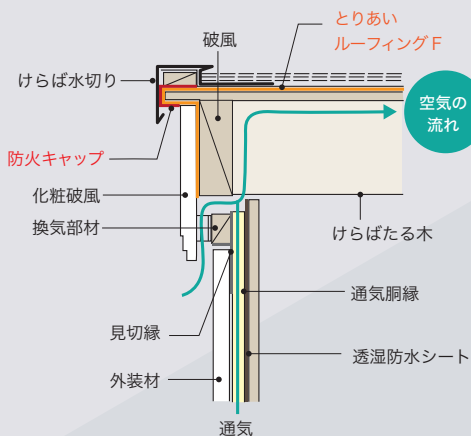


とりあいルーフィングFは強度があり、しなやかな素材なので軒先部野地板になじみやすく、巻き込むことが可能。

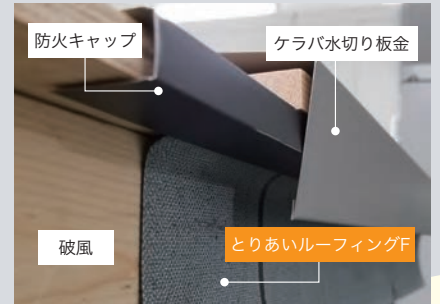


とりあいルーフィングFを野地板先端部まで巻き込み、鼻隠し下端まで張り下げる。

ケラバ部



けらば部も同様にとりあいルーフィングFを使用することでけらば部野地板になじみやすく、巻き込むことが可能。



とりあいルーフィングFを破風下端まで巻き込み、張り下げる。

屋根の各部位の増張り



片流れ頂部増し張り



棟部増し張り

【けらば破風板がない場合の納まり例】

